

東部
(松崎町)

居場所

伊豆・松崎・であい村蔵ら

和カフェとものづくりで 町と高齢者に元気を与える居場所

「蔵ら」がある松崎町は、県内でも高齢化率が高い町のひとつ。しかし、ここで暮らす高齢者はとても元気です。理由のひとつが「蔵ら」の存在。「町と高齢者を元気にしたい」と代表の青森千枝美さんが築150年の古民家を借り受け、20数名の仲間達と平成22年にオープンしランチを提供。さらに平成30年4月からは和のカフェをスタート。青森さんをはじめスタッフの多くが70代の女性。その様子がセカンドライフを紹介するテレビ番組『人生の楽園』等で紹介され、町外からの来訪者で大繁盛に。「嬉しい反面、地域の皆さんとのかわりが薄くなるのが懸念されました」と青森さん。そこで、平成26年夏に原点回帰。おしゃべりしながら手芸などをして介護予防をしようと「ものづくり」で過ごす日を設けました（「ものづくり楽校」）。「70代はプラチナ世代」と語る青森さん達の笑顔にパワーをもらいに、たくさんの人が「蔵ら」を訪れます。



和カフェとフリーメニューの提供は週4日(月・水・土・日)。近隣から訪れる常連さんの高齢者、県内外からの観光客、大きなテーブルを囲みおしゃべりしながらの昼食風景。

メッセージ

代表理事
青森 千枝美さん



「蔵ら」で一緒に働く仲間達は、料理、接客、経理、パソコン、車の運転などそれぞれ得意とすることで参加しています。70代だからこそ、できることがある。みんなな人生のプロフェッショナルです。平成26年夏からは、手を使った「ものづくり」を楽しむ居場所を始めました。これからもいろいろなことにチャレンジしていきたいと思っています。

ここに注目!!



展示販売する手作り小物はハイクオリティ。現在、町内外の60～90代の70数名が作り手として登録しています。



ランチは「さんま寿司」(500円)と軽食を提供。地元の野菜や海産物を使ったおふくろの味。週末は品切れになることも。



手先を使い、脳を刺激して介護予防をと、平成26年夏からはじまった「ものづくり楽校」

- 週2回(火曜・金曜)午後開催。
 - 火曜日…自由に好きなものを作る日
 - 金曜日…「教室」(申込制)
- *視察や見学時のものづくり体験も可能。

DATA

☎(0558)42-0100

賀茂郡松崎町松崎319-1

F A X / 0558-42-0100

開設時間 / 毎日(木曜定休) 10:00~16:00

ランチタイム(月水土日のみ)

11:30~13:30(売切れ次第終了)

アクセス / JR三島駅より東海バス 松崎町行バス

駐車場 / 有

※視察は事前の電話連絡必要

〈経緯〉

平成17年 手作り小物店「ゆめのはな」をオープン
平成22年 ワーカーズコレクティブによる共同出資で「蔵ら」をオープン



平成23年 三島信用金庫「夢企業大賞」優秀賞受賞
平成24年 内閣府エイジレス・ライフ社会参加活動事例受賞

平成25年 企業組合へ改組
平成26年 「第2回 健康寿命をのばそう!アワード」厚生労働省健康局長・団体部門 優良賞受賞
2月にふるさと貢献賞受賞

平成30年 (静岡新聞・静岡放送主催)

〈運営〉

運営主体:企業組合であい村蔵ら
代表者:青森 千枝美(代表理事)

東部
(熱海市)

居場所

七美クラブ

高齢化が進む団地の集会所を活用 孤立を防ぐ仕組みづくりも

相模湾を眺望する高台に、県営七尾団地が建設されたのは昭和50年前後。当時、総戸数340世帯だったのが平成29年には170世帯まで減少。高齢化が進み、平均年齢は70歳代以上になりました。そこで、住民同士で互いに見守りができるような「居場所」の必要性を強く感じた町内会長の大友勇さんを中心に、平成25年4月、集会所を使った居場所「七美クラブ」が開設されました。木曜日以外は毎日夕方4時までオープンしています。運営スタッフは特別決めず、都合がつく住民が自発的に活動しています。開設後は、住民の要望がより早く届くようになり、地域の課題も見えてきました。その結果、買い物難民対策として企業に働きかけて移動販売車を導入したり、「孤食」を少しでも解消したいと、新しくなった台所を活用した食事を開催するなど、さまざまな工夫をしています。



一日平均、14～15名が訪れる。おしゃべりをしたり、本を読んだり、健康麻雀をしたり。「一人暮らしなので家にいると不安」という人も、ここではくつろいだ表情を見せています。

メッセージ

代表
大友 勇さん

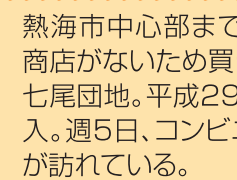


「七美クラブ」は、誰が、いつ来てもいい居場所です。七尾団地の住民はもちろん、泉・伊豆山という地域とのネットワークもあるので地域住民の方も来ています。大人も子どもも孤立しないような見守りが必要だと思います。現在、団地の再生計画が進められていますが、私たちの活動も細く、長く続けていきたいです。

ここに注目!!



平成29年春に台所が完成したことから始まった「食事会」。各棟の役員が順番に当番となり、季節ごとに開催。毎回、70名前後の住民と一緒に食事をする。



熱海市中心部まで距離があり、近隣には商店がないため買い物難民対策が課題の七尾団地。平成29年より移動販売車を導入。週5日、コンビニや牛乳販売店等の車が訪れている。



数は少ないが乳幼児や小・中学生も暮らす七尾団地。イベント時のみならず普段も顔をだし、利用者とは交流しているという。

DATA

☎(0557)80-3607

(集会所)

熱海市伊豆山1173-13

七尾団地集会所

F A X / 0557-80-0018(大友)

開設時間 / 木曜日を除く毎日

10:00~16:00(お昼の1時間は休み)

年末年始は休み

アクセス / JR熱海駅より伊豆東海バス

「七尾団地」下車すぐ

駐車場 / 有

※視察は事前の電話連絡必要



〈経緯〉

昭和50年前後 七尾団地建設
平成25年 「七美クラブ」開設
平成28年 移動販売車で日用品・食品販売開始
平成29年 集会所改修工事(台所・手洗い等)

〈運営〉

運営主体:七尾団地町内会
代表者:大友 勇(町内会長)